

宮崎紗矢香（25）

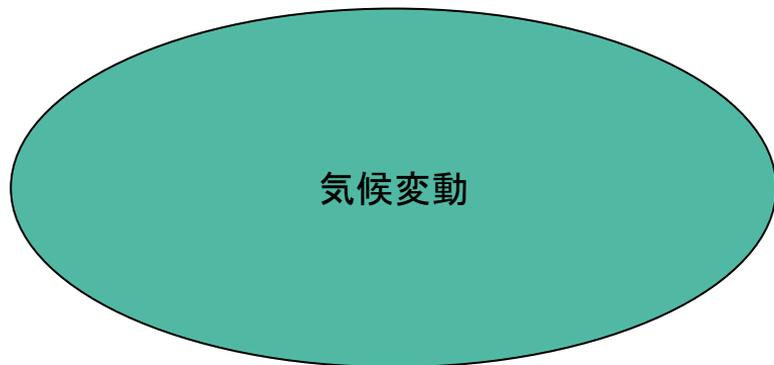
- ・ 環境活動家
- ・ 7月に横浜から
群馬県みなかみ
町へ移住



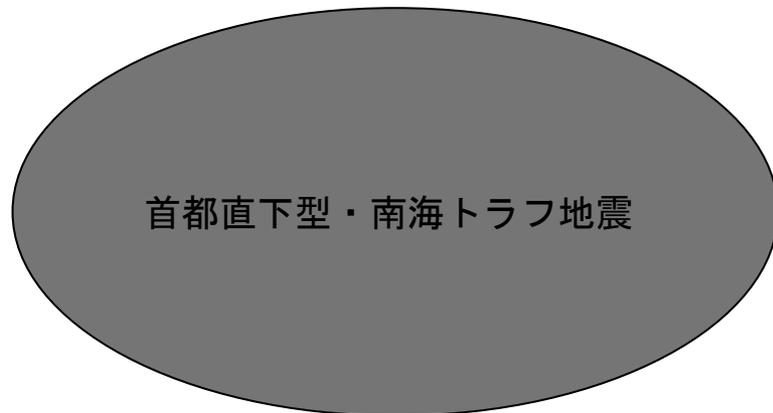
私たちは、何歳まで生きるのだろうか？



人生100年時代？ライフプランを描きにくい時代



Z世代

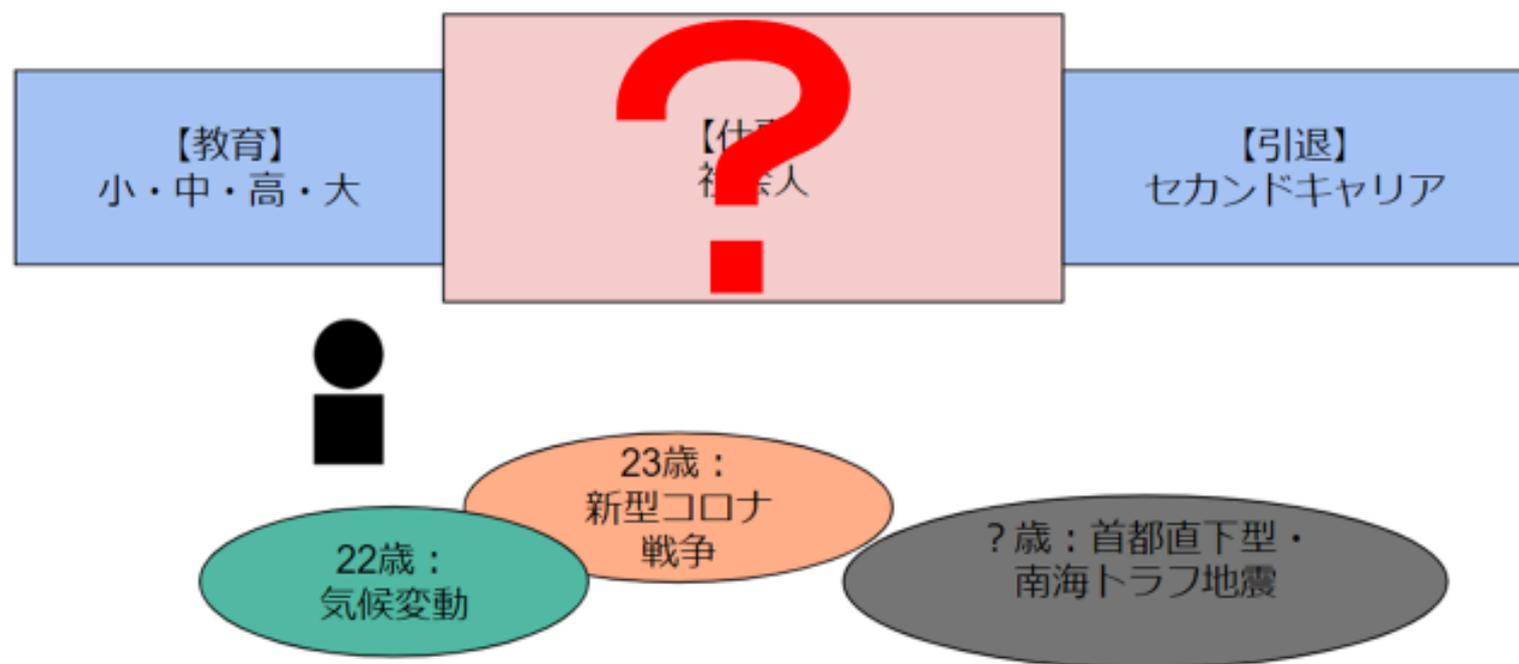


これまで通りの
生き方働き方学び方が
通用しない。



既存システムの限界。
思い通りにならない
世界をどう生きるか。

生き方の常識が変わろうとしている。
大人、社会人、部長になるまで（定年退職するまで）
待っている必要はない。

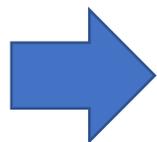


SYSTEM CHANGE
NOT
CLIMATE CHANGE



社会システムの中に「埋め込まれている」問題

今ある社会の仕組みやルールを前提としてその改善を図るのではなく、持続可能な社会の実現に向けて、社会システムの仕組みやルールそのものを変える。



**社会の「仕組み」や「ルール」そのものを変えていくこと
(トランジション) が必要**

ここで質問です、下記の数字は何でしょう？

6:6:3:3:4:48

日本人の主な人生の区切り [70歳と仮定した場合] ※男性約82歳、女性約88歳

6:6:3:3:4:48

学校教育

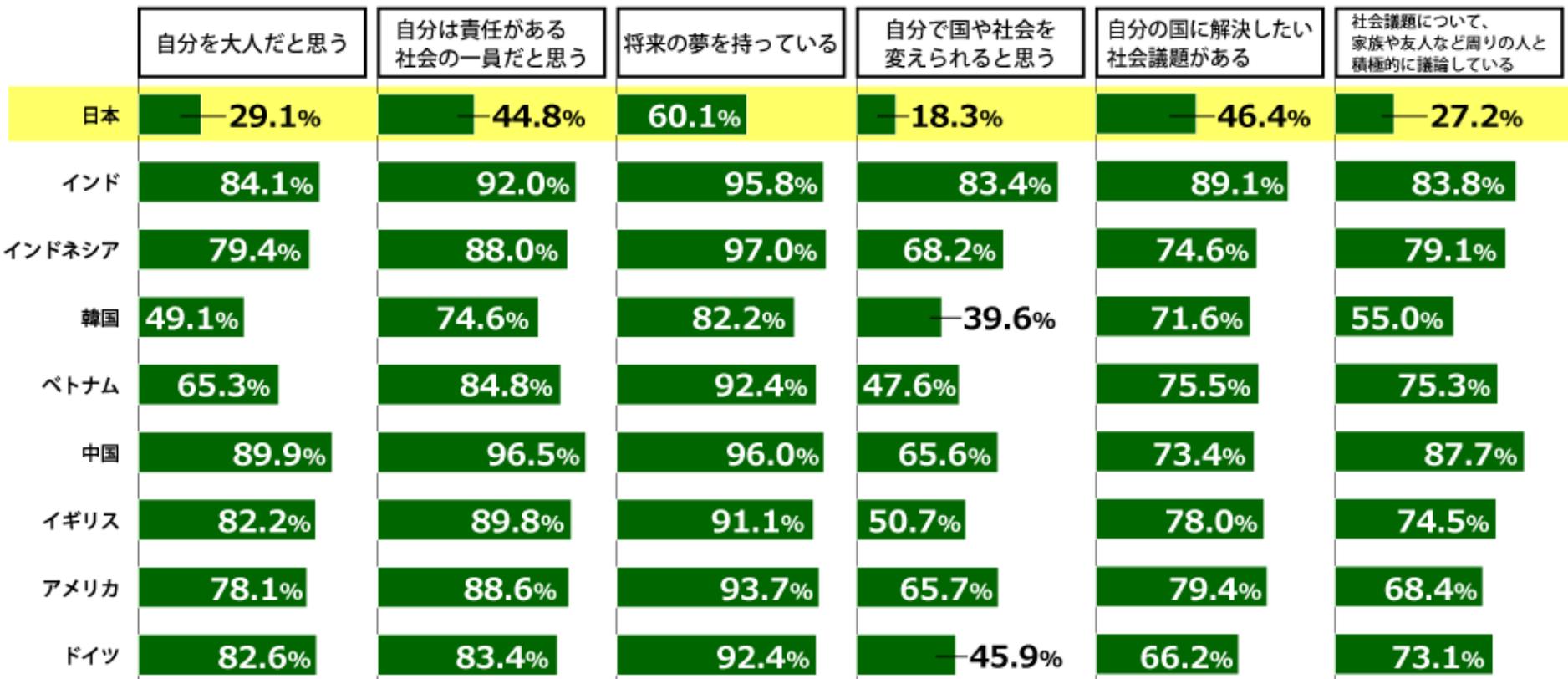
16年

社会人

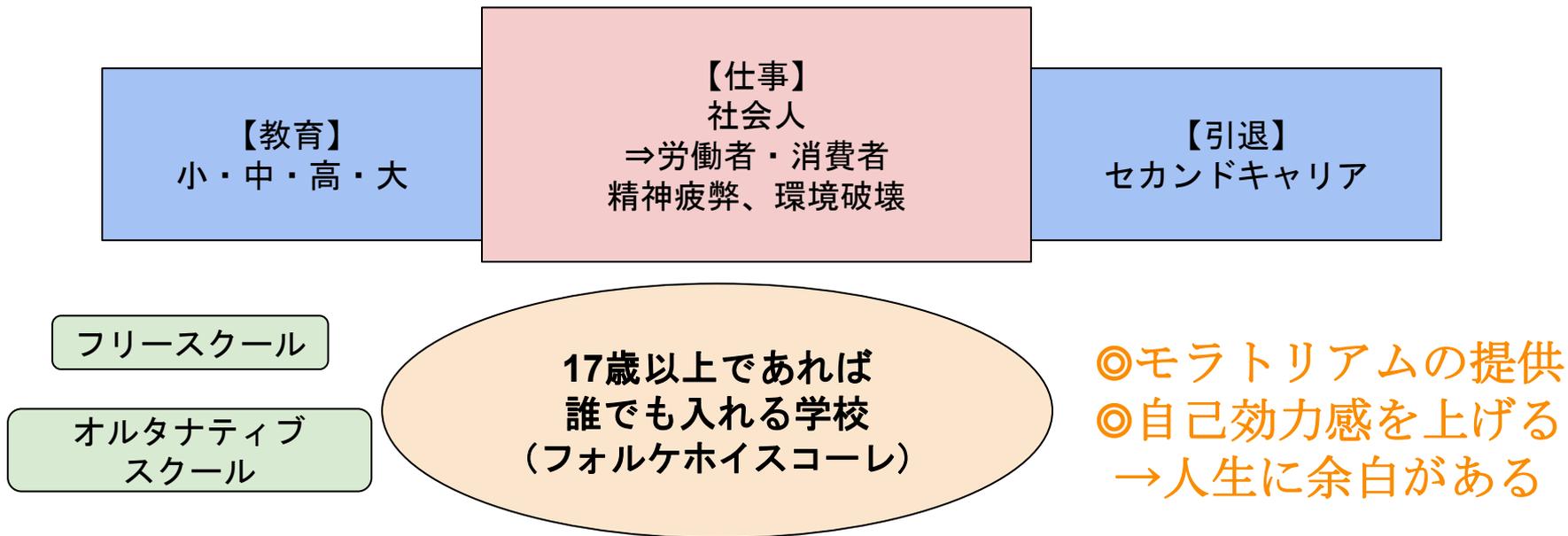
→その3倍

どうして大学卒業＝社会人スタートなのか
学生時代が終われば、学びも終わり？

日本の若者の8割が「社会は変わらない」と諦めている



教育⇒仕事⇒引退 (エイジ≠ステージ)
若者に新しい生き方・働き方の選択肢を。



モデル：デンマーク発祥・フォルケホイスコーレ

私たちはデンマーク発祥のフォルケホイスコーレをモデルとしています。180年続く、大人の全寮制の学校です。



1. 「試験も資格もない” 人生の学校”」

17歳半以上の” 大人”であれば、国籍・人種・宗教を問わず誰でも入学でき、試験、成績、評価などといったプレッシャーから解放された自由な全寮制の学びの場

2. 「自分自身について学び、人間的に成長する場」

哲学、音楽、アート、スポーツなどメインで学ぶ内容は学校によって異なるが、様々な体験の中で自分の感情の揺れと向き合いながら、「自分自身」について深く探求していくことは共通している

3. 「民主的なあり方を、共に暮らしながら育む」

「生きた言葉（対話）」から学ぶのがフォルケ精神。” 多様な他者と生きる” 中で、意見を混ぜ合わせ新たなものを創出するといった“民主主義的なあり方”でものごとを進めることを学んでいく

会社を辞め、北海道東川町「人生の学校」へ









英国シューマツハカレッジ (大学)



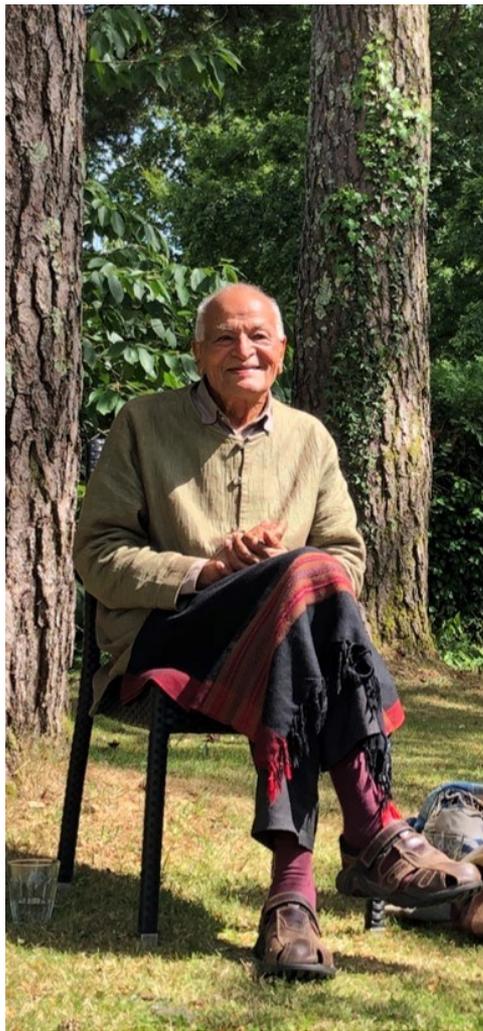
Schumacher
College

インド人の哲学者サティシュ・クマールさんが25年前に創立。

- ・ 経済や科学、農業や心理学などを横断的に身につける **Holistic Science**

- ・ 3Hを大切に。Head, Heart, Hand (頭、心、手・身体)

- ・ ソーシャルデザインやローカルエコノミー、有機農業など、近年日本でも注目されている領域を体系化した先駆的な研究機関・コミュニティ。











VEGAN

CONTAINS ALMONDS

SPECIAL DIETS TABLE
PLEASE NOTE: ALL FOODS ARE PREPARED IN OUR KITCHEN WHICH IS NOT A SEPARATELY MAINTAINED FACILITY. WE DO NOT HAVE A SEPARATELY MAINTAINED FACILITY FOR THE PREPARATION OF SPECIAL DIET FOODS. WE DO NOT HAVE A SEPARATELY MAINTAINED FACILITY FOR THE PREPARATION OF SPECIAL DIET FOODS. WE DO NOT HAVE A SEPARATELY MAINTAINED FACILITY FOR THE PREPARATION OF SPECIAL DIET FOODS.



常に対等なコミュニティ
とともに探求し、ともに成長する
ジャーニーへの「お誘い」



唄唱「ミサ」ポリネシア語で「月」を祝福する子守唄

Deep time walk

地球の46億年の歴史を4.6kmに置きかえ、雄大な自然を歩く。

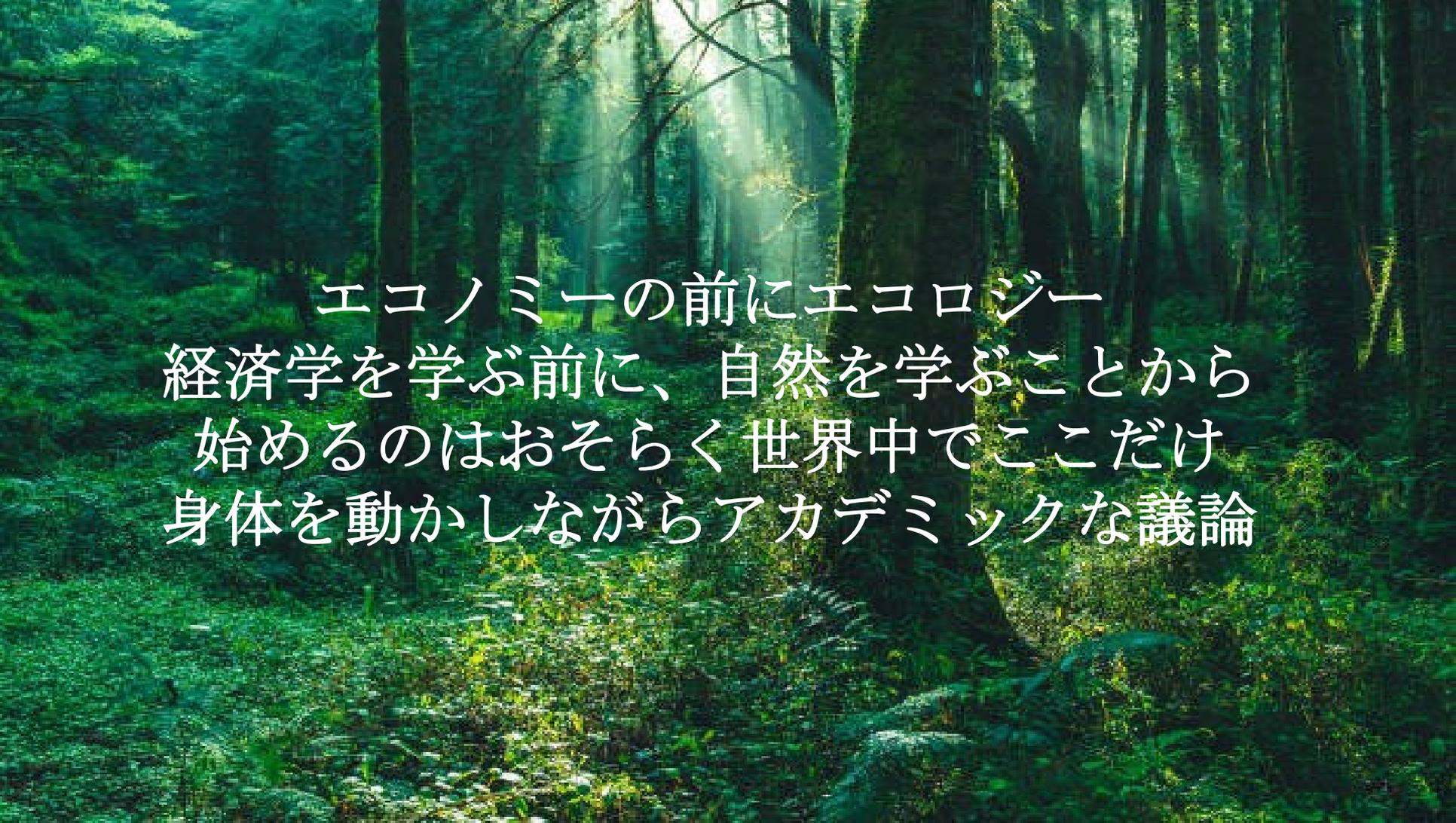
1メートル→100万年

1ミリ→1000年。

一歩（50cm）→50万年

0.3ミリ以下→産業革命から現在



A lush green forest with sunlight filtering through the trees. The scene is filled with tall, slender trees and dense foliage, creating a serene and natural atmosphere. Sunlight rays are visible, casting a warm glow on the forest floor.

エコノミーの前にエコロジー
経済学を学ぶ前に、自然を学ぶことから
始めるのはおそらく世界中でここだけ
身体を動かしながらアカデミックな議論

A low-angle shot of a large, leafy tree with a person sitting on a branch. The text is overlaid on the upper part of the image.

「グリーンスクール」
大自然の中で自分を再発見し
センスオブワンダーを磨く
学び舎

7月末に横浜→群馬県みなかみ町へ移住しました

みなかみ町観光協会公式サイト

みなかみ

パーフェクトガイド

Perfect Guide of Minakami





みなかみ
ユネスコ
エコパーク

minakami

利根川源流のまち、 水と森林と人を育むユネスコエコパーク

わたしたちは、地域の最大の宝であり資源である自然や景観、水をはじめとするたくさんの森林の恵みを未来を担う子供たちにつないでいかなくってはなりません。

大切にまもられてきた自然環境に感謝しながら、自然と人間が共生する持続可能なまちづくりを行うため、水と森林を育み、それを「まもる・いかす・ひろめる」力を携えた「人」を育むユネスコエコパークをめざします。





水源の地

**利根川の
最初の
一滴が湧く
場所。**

水源地で地球の起源を探り、
私たちの源へ還る旅

11月12日（土）～14日（月）2泊3日
みなかみディープタイムトラベル



Find our Oasis
～生命の起源をたどる3日間～





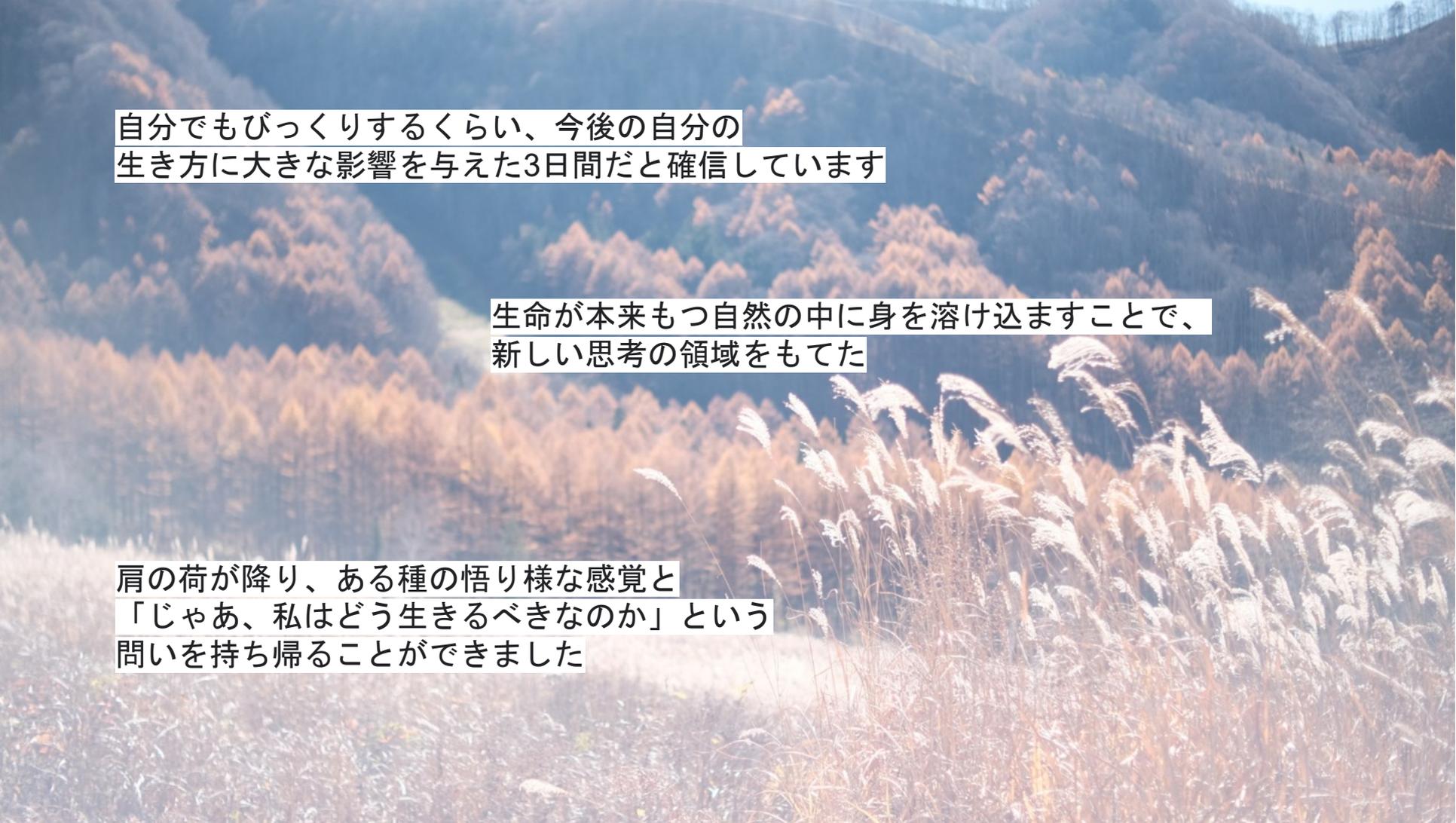
自然の声を聴く。川の音に耳を傾ける。











自分でもびっくりするくらい、今後の自分の
生き方に大きな影響を与えた3日間だと確信しています

生命が本来もつ自然の中に身を溶け込ますことで、
新しい思考の領域をもてた

肩の荷が降り、ある種の悟り様な感覚と
「じゃあ、私はどう生きるべきなのか」という
問いを持ち帰ることができました

プログラム内訳

参加費55,000円（一般）45,000円（学生）
参加者6人（10~20代の若者）＋町の親子＋寄付
売上413,500－経費369,110＝利益44,390



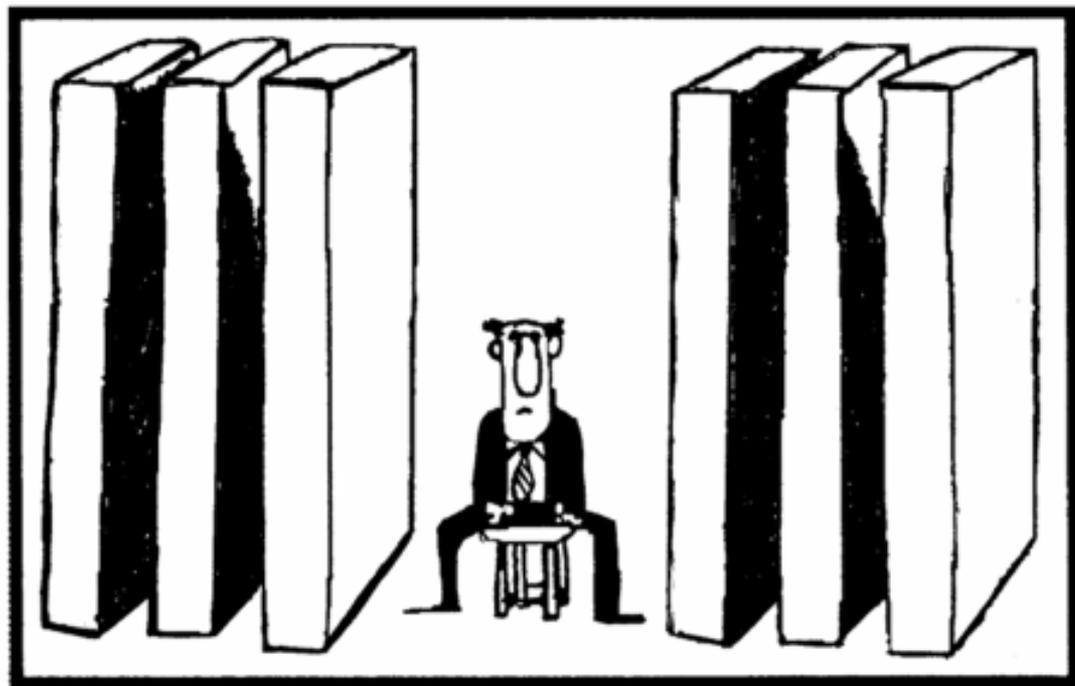
みなかみにまた来たい！



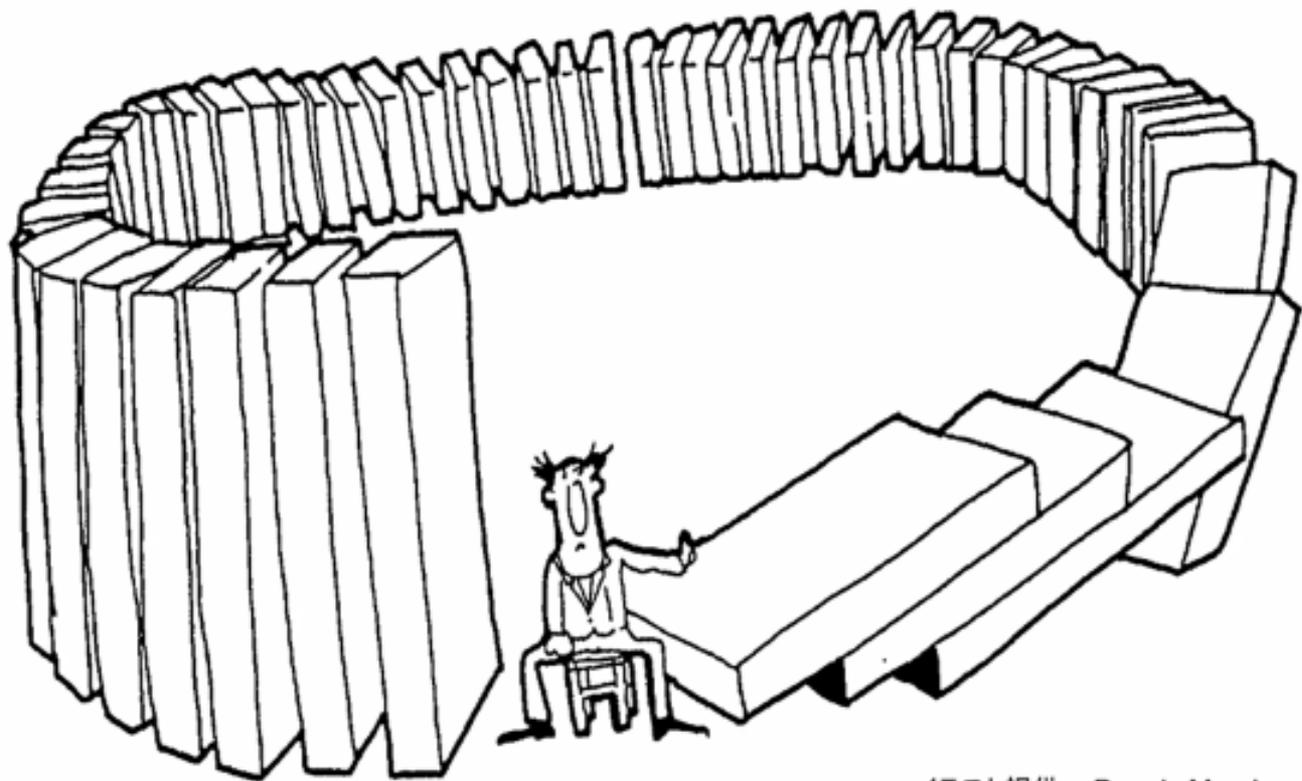
これからの時代に求められるもの
「学校の外のがっこう」

→社会の規範から外れて
ありのままに自己や他者を掘り下げる
地球環境との調和を結び
厳しい時代を生きる術を学ぶ場所

「窮屈問題」にどう対処するか？



今はいいけれど...



イラスト提供: Dennis Meadows氏

人を責めない 自分を責めない
システム思考

犯人捜しをしない
構造を変えない限り
問題は解決しない

環境問題の対症療法と根本治療

対症療法

表面に見えている問題を処理すること。比較的早く、簡単に対応できるが、問題を引き起こしている原因は解決していない。

例：

- 節電の呼びかけに応じる。
- 海岸や川岸に落ちているごみを拾う。

根本治療

問題を引き起こしている社会の仕組みやルール（埋め込まれた問題）を改善すること。時間と労力が必要。

例：

- 化石燃料を大幅に減らし、再生可能エネルギーを増やす。
- ごみが出ない流通システムにする。

「社会の変革（トランジション）」の実現に求められる行動とは？

